

令和3年度 宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校 自己評価書（附属中）

4段階評価 4 期待以上 3 ほぼ期待どおり 2 やや期待を下回る 1 改善を要する

【教育目標】 1 知徳体の調和のとれた人材の育成を目指す。 2 校訓を具現化し、21世紀を担う人材の育成を目指す。								
重点目標	評価項目	計画(P)		実践(D)		評定(C) 指標別 総合	学校関係者評価	
		評価指標	数値目標	方策・手立て	結果の考察・分析 及び 改善策等		評定	評価コメント
規律ある行動と学習習慣の定着	生徒一人一人の学力を最大限に伸ばし、進路実現を図る。	①教師が授業力を磨く。 ②キャリア教育を充実させる。 ③学習習慣を確立させる。 ④学力に応じた個別指導、補充指導を充実させる。 ⑤読書活動を推進する。 ⑥学力検討会を充実させる。 ⑦生徒の探究力を育成する。	①授業評価が、3.5以上になるようになる。 ②大学探訪(2年生2回)、企業探訪(2年生1回)、職場体験学習を実施する。 ③週あたりの宿習時間を1, 2年1080分以上、3年1200分以上(部活動引後1500分以上)にする。 ④SETの時間を1ヶ月あたり1時間確保する。 ⑤生徒全員が1ヶ月あたり5冊以上読む。 ⑥テストごとに学力検討会を実施する。 ⑦自然科学探究を充実させ、校外のコンクールなどに出演する。	①全職員が年に2回の重点支援校訪問で研究授業を行う。また、校内ICT活用推進週間にICTを活用した授業を行う。 ②総合的な学習の時間(キャリア探究)を充実させる。 ③学習の意義や学び方を指導し、家庭学習の習慣化を図る。また、宿習時間調査を定期的に実施し、意識を高める。 ④諸検査結果の分析を行い、各教科で補充指導・個別指導を行う。 ⑤思索の時間の在り方を工夫する。 ⑥学力検討会を設定すると共に焦点化を図った内容で実施する。 ⑦夏休み終盤を締切とし、コンクールに出せるように支援する。	3	①重点支援校訪問において、全職員が2回の研究授業を行った。また、教職員同士が日常的に情報交換を行い、ICTを活用した授業を計画的に実施することができた。 ②コロナ禍による中止・縮小の中、大学企業探訪を実施することができた。また、職場体験学習の代替として各企業と他県の中学校をオンラインで結んだキャリア学習を行うことができた。 ③家庭学習時間調査を定期的に行い指導に生かしたことで、全学年とも週当たりの宿習時間の数値目標を超えることができた。今後は、数値目標を達成していない生徒への個別指導に努める。 ④個別指導や補充学習のためのSETの時間を多く確保することができた。 ⑤清泉会を中心に思索の時間の充実に努めた。教職員も支援しながら日々の取組を定着させていく。 ⑥中学校職員で諸検査等の結果の分析を定期的に行い、授業改善や個別指導につなげることができた。 ⑦1・3年の自然科学探究学習について全職員で指導に当たり、全ての生徒が個人研究のプレゼン等を作成することができた。コンクール等にも積極的に応募し、全国レベルでの表彰を受ける生徒もいた。	3.5	・教職員同士の情報交換で、ICTを活用した授業を計画的に実施できた事は大変評価できます。 ・コロナ禍でも積極的なアクションがとれたと思います。 ・学力を伸ばすために、オンライン授業や先生方の取り組みが良かったです。
規律ある行動と学習習慣の定着	豊かな心を育む。	①職員の共通理解と共通実践を図る。 ②挨拶を励行し規律を守る、素直で、さわやかな生徒を育てる。 ③自主性・積極性のある生徒を育てる。 ④環境美化意識の高揚を図る。 ⑤道徳教育、人権教育、特別支援教育、教育相談を充実させる。	①中学校企画会議で毎回生徒の情報交換を行う。 ②清泉会活動を充実させ、あいさつの推進を図る。 ③生徒企画の清泉会集会を学期に1回以上実施する。 ④学期1回、清掃徹底週間を設定する。 ⑤道徳の時間を年間35時間確保する。 ⑥三者面談を実施する。	①情報の共有化を図り、全職員による共通理解、共通実践により、指導態勢の確立に努める。 ②基本的な生活習慣の確立を図る。 ③清泉会組織の改編と活性化を図り、生徒の自主的活動の場を設定する。 ④美化委員会を中心として清掃徹底週間を設定し、清掃に対する意識を高める。 ⑤道徳指導の充実を図る。 ⑥相談内容を充実させ、生徒一人ひとりの理解を深める。	3	①週1回以上の情報交換を行い、学習や生徒指導に係る共通理解を図ることができた。 ②担当職員の指導のもと、清泉会を中心に挨拶の励行に係る取組を充実させたことで、自分から挨拶する生徒が増えってきた。 ③清泉会や集会等で、生徒が企画・運営する活動等の機会を増やしたことで生徒の主体性が少し芽生えてきた。 ④清掃徹底週間を設定し取組を充実させたことで、時間いっぱい清掃に取り組む生徒が増えた。 ⑤学級担任による週1回の道徳の授業を計画的に実施することができた。他の教育活動でも、道徳に関する指導を計画的に実施することができた。 ⑥夏季休業に全生徒対象の三者面談を、冬季休業中に希望者対象の面談を実施することができた。	3.8	・生徒仲良く切磋琢磨できたと思います。
規律ある行動と学習習慣の定着	文武連道を推進する。	①学校行事へ積極的に参加させる。 ②生徒会活動を活性化させる。 ③部活動を充実させる。	①生徒全員が、一人一役で主体的に学校行事へ参加する。 ②清泉会集会を学期1度以上開催する。 ③部活動加入率を85パーセント以上にする。	①行事の目的を生徒に理解させ、事前指導・事後指導を行う。 ②話し合い活動の場を設定し、生徒自身に考えさせる。 ③部活動の意義を生徒に話し、積極的に加入を勧める。	3	①教育活動ごとにガイダンスや振り返りの時間を設定し、事前・事後の指導を充実することができた。 ②各教科の授業だけでなく、清泉会や集会等での異学年間の交流において、話し合い活動の場を計画的に設定することができた。 ③部活動に所属している生徒の割合が84%と昨年度と同程度の加入率であった。また、各部で指導を工夫したことにより、これまで以上に主体的に取り組む生徒の姿が見られるようになった。	3.5	・学校と家庭の連携がうまくいっており、文武連道がうまく出来ていると思いました。 ・入部率84%は大いに評価できます。文武連道の推進が出来ている感じがしました。
規律ある行動と学習習慣の定着	広報活動を充実させる。	①学校説明会等の工夫・改善を図る。 ②ホームページ、広報誌、パンフレット等を充実させる。 ③積極的に小学校を訪問する。	①学校説明会の内容を参加者の90%以上がよいと答えるように充実を図る。 ②ホームページの内容を1週間に1度はチェックする。 ③北諸県地区内のすべての小学校を訪問する。西諸県地区については、要望に応じて訪問する。	①学校説明会の在り方を工夫し、魅力あるものにする。 ②広報誌や学校案内パンフレットの内容を十分に検討し、作成する。 ③1学期終わりから教頭を中心に各小学校と調整し訪問を実施する。	3	①感染対策を十分行った上で学校説明会を2回実施することができた。生徒主体の説明は多くの参加者から好評を得た。 ②学校案内を作成し、地域内の小学校等に配付するとともに、ホームページでも紹介することで、本校の特色の周知に努めた。また、ホームページもこまめに更新し、昨年度1年間の総アクセス数を上回ることができた。 ③教頭を中心に地域内の全小学校を訪問し、本校の学校説明を行うことができた。	3.5	・ホームページも頻繁に更新されており、子ども達の活動がよく伝わります。 ・西諸県地区における本校の人気はどうでしょうか。